

第2期 新居浜市総合戦略

～住みたい、住み続けたい

Hello!
NEW

あかがねのまちを目指して～



令和2年3月

令和6年11月改訂

愛媛県新居浜市

目次

はじめに（総合戦略の位置付け） 3
（地方創生の目的／国の動向／新居浜市の動き／新居浜市における人口の将来展望／
第1期総合戦略の振り返り／第2次総合戦略の対象期間）
第2期総合戦略の読み方とポイント 7
（4つの基本目標と7つの数値目標／数値目標の解説／16の施策と28のKPI／つながりシート）
基本的方向と主要な施策、取組 13
基本目標 1 13



新

たな雇用の創出と産業を支える人づくりに努め、地元産業を振興します

- ・ものづくり産業の振興 13
- ・新産業の創出、創業への支援 15
- ・地元産業の振興 16
- ・住友各社との連携強化と
企業誘致の促進 17

基本目標 2 18

居

住地・観光地としての魅力を高め、関係人口を創出し、
交流人口・定住人口を拡大します



- ・移住・定住の促進 18
- ・交流人口の拡大 20
- ・関係人口の創出・拡大 21

目次

基本目標 323

浜

っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに、健康長寿社会を実現します

- ・少子化対策の充実.....23
- ・子育て支援の充実..... 24
- ・教育環境の整備.....25
- ・健康寿命の延伸.....26



基本目標 427

市

域・組織を越えた連携を深め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

- ・時代に合ったまちづくりの推進.....27
- ・健康で豊かな生活が送れるまちづくりの推進..... 28
- ・安全・安心のまちづくりの推進..... 30
- ・協働のまちづくりの推進.....31
- ・3市（新居浜・西条・四国中央）連携の推進.....32



巻末資料.....33

(人口ビジョンと総合戦略の相関図／第2期総合戦略の施策の体系／
数値目標・KPI記録シート／つながりシート・SDGsひもづけシート)

※SDGs（持続可能な開発目標）の17の目標については、12ページをご参照ください。

はじめに

総合戦略の位置付け

(地方創生の目的)

地方創生は、出生率の低下によって引き起こされる人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的としています。

(国の動向)

2014年9月にまち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）が制定され、内閣にまち・ひと・しごと創生本部が設置されました。

同年12月には、2060年に1億人程度の人口を維持するなどの中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が策定されるとともに、5か年の目標や施策の基本的方向等をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、国の総合戦略といいます。）が策定されました。第1期国の総合戦略では、「地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする」、「地方への新しい人の流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、及び「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」を4つの基本目標として、取組を進めてきました。

また、引き続き基本施策は継続しつつ、地方へのひと・資金の流れを強化する、新しい時代の流れを力にするなど6つの新たな視点を加えた第2期総合戦略が2019年12月に策定されました。

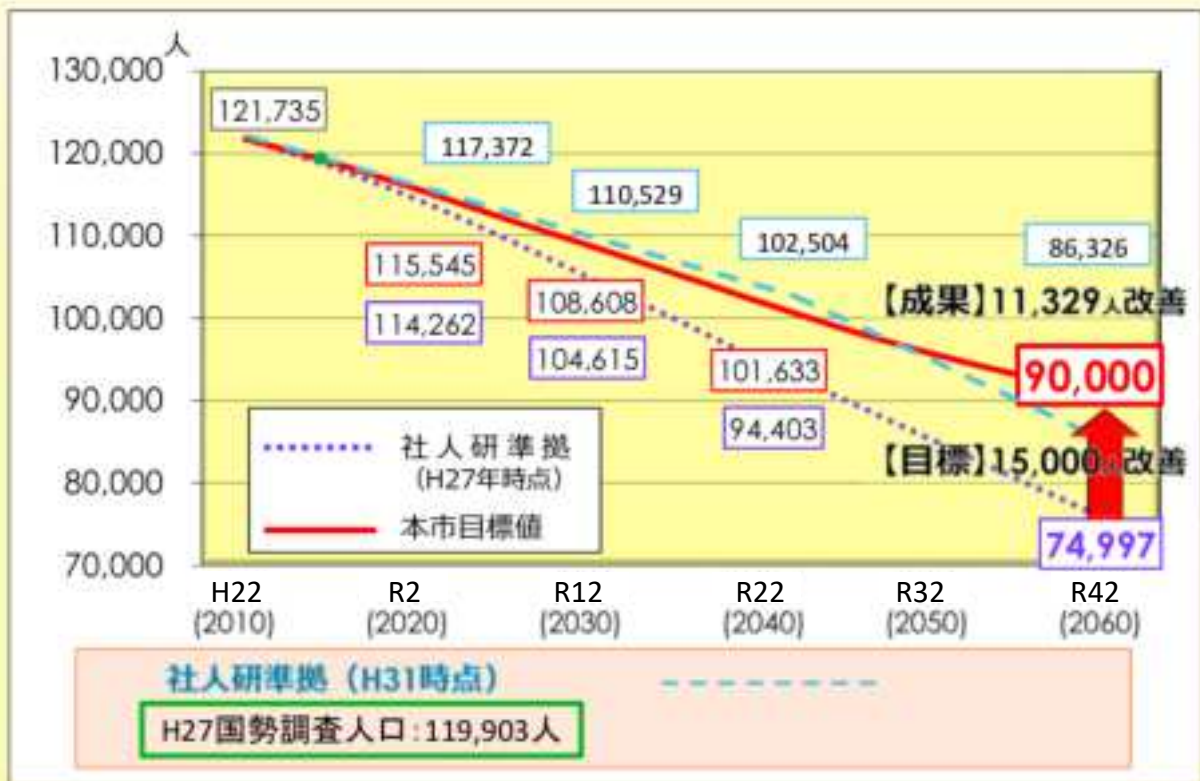
(新居浜市の動き)

このような背景のなか、新居浜市においては、2015年12月に本市が目指す将来の方向と人口の将来展望を示した「新居浜市人口ビジョン」を策定し、2060年に人口9万人の維持を目標に掲げるとともに、その実現に向けて、本市の実情に応じた5年間（平成27年度～令和元年度）の目標や施策の基本的方向、具体的な施策を示した「新居浜市総合戦略」（以下、総合戦略といいます。）を策定しました。

はじめに

(新居浜市における人口の将来展望)

新居浜市における人口の将来展望



「新居浜市人口ビジョン」においては、平成27年時点（平成22年国勢調査人口ベース）の国立社会保障・人口問題研究所準拠推計人口（社人研準拠推計人口）（青色点線で表示）では、令和42年（2060年）には74,997人まで減少する新居浜市の人口を、本市目標値（赤色実線）で示すように令和42年（2060年）に9万人を維持しようとするもので、約1万5千人の改善を目標とするものです。

また、昨年、平成27年国勢調査に基づく平成31年時点での社人研準拠推計人口（水色破線）が公表され、令和42年（2060年）の本市人口は86,326人と推計されています。これは、平成27年人口ビジョン策定時の人口改善目標15,000人に対して、31年時点の将来人口においては、成果として11,329人改善されたこととなり、人口減少幅が小さくなったことは、これまでの施策等の効果が現れてきているものと考えられますが、目標達成には、さらに4千人の改善が必要となります。また、ここ数年の出生数の減少等を勘案すると、今後も予断を許さない状況には変わりはないことから、引き続き令和42年（2060年）に人口9万人を維持することを目標に、取組を進めます。

はじめに

(第1期総合戦略の振り返り)

第1期新居浜市総合戦略においては、**基本目標1「新たな雇用を創り出し、地元産業を振興します」**、**基本目標2「居住地・観光地としての魅力を高め、定住人口・交流人口を拡大します」**、**基本目標3「浜っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに、健康長寿社会を実現します」**、**基本目標4「市域を越えた連携を進め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します」**を4つの基本目標に7つの数値目標を、14の施策に38のKPIを設定し、「住みたい、住み続けたい あかがねのまち」の実現に向けて、取組を進めました。

第1期総合戦略の計画期間が、令和2年3月末までとなっていることから、現時点（令和2年1月）では5年間の総括はできていませんが、平成27（2015）年度から平成30（2018）年度までの4年間の各指標の達成状況については、次のとおりです。

第1期新居浜市総合戦略の【数値目標】

	数値目標	基準値	目標値 (H31)	実績値 (H30)	進捗
基本目標1	市内事業所従業者数	54,020人	54,100人	53,020人	
	市内製造品出荷額等	6,582億1,500万円	7,000億円	7,024億1,576万円	達成
基本目標2	年間社会増減数	△399人	△260人	△342人	
	年間観光入込客数	2,206,000人	2,500,000人	2,514,364人	達成
基本目標3	合計特殊出生率	1.8	1.9	未公表	
	65歳健康寿命	男16.04年 女19.47年	男17.3年 女20.5年	男17.11年 女20.28年	
基本目標4	「新居浜市の住みごっこ」を満足、やや満足と回答した割合	55.5%	80.0%	57.7%	

【KPI】

KPI（38項目） 18（達成できたKPIの数） / 38（KPIの総数）

基本目標1 5/10

基本目標2 4/11

基本目標3 4/7

基本目標4 5/10

KPIについて、平成28年度実績において既に目標値を上回っている項目については、平成29年度にKPIの見直しを行った結果、8項目の上方修正を行いました。

はじめに

これらのKPIのうち、主な指標をみますと、まず、基本目標1の「県・市が支援した全国規模の展示会での市内企業の成約額」では、平成30年度初めて目標額を上回りました。新居浜市ものづくりブランド事業として、大型見本市などに積極的にまた継続して出展した成果ととらえることができます。「創業支援による創業件数」では、平成29年度は目標値を超えましたが、年によって件数にばらつきがあります。補助制度だけではなく、創業に結びつける支援策の充実も必要であると考えます。

次に、基本目標2の「奨学金返済支援事業を利用した市内就職者数」では、目標値には届いていないものの右肩上がりとなっており、UIターンで本市へ就職してくれている人が増えていることが推測されます。「マイントピア別子入込客数」では、リニューアルした平成28年をピークに減少傾向が続いていますが、年間60万人をキープしています。

次に、基本目標3の「地域子育て支援拠点施設延べ利用者数」では、その利用者は増加の傾向にあります。平成28年度以降8つの拠点施設での運営を行っているところですが、子育て世代にとって選択肢が豊富であることが満足度を引き上げる要因になっているものと考えます。このことが少なからず、「『子育て支援策の充実』を満足、やや満足と回答した人の割合」に表れているものと思われます。

最後に、基本目標4の「自主防災組織（単位自治会）の組織率」及び「自主防災訓練参加者数」では、ともに微増という結果になっています。このことは、自分の身は自分で守るという自助の意識が根付きつつあることの表れであると分析していますが、一方で、「『コミュニティ活動の充実と支援を満足、やや満足』と回答した人の割合」は、大きく下がっています。価値観が多様化し、近所付き合いが希薄となっている地域社会において、自治会加入率の低下が問題視されるなど、地域特性に応じた共助のネットワークをいかに構築していくかが、これからの課題となってくると分析をしています。

このような分析を踏まえ、適切な数値目標及びKPIの設定を行い、各事業の着実な実施のためのPDCAサイクルを確立し、第2期総合戦略の進捗管理に努めるとともに、外部有識者で構成される「新居浜市地方創生有識者会議」を活用し、数値目標やKPIを基に、施策の効果を検証し、必要に応じて改訂を行うとともに、積極的にわかりやすい公表に努めます。

（第2期総合戦略の対象期間）

第2期総合戦略の対象期間は、国の総合戦略の期間に合わせ、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度の5年間とします。

※対象期間：令和2（2020）年度から令和7（2025）年度までに延長

第2期 総合戦略の読み方とポイント

第2期総合戦略では、新居浜市人口ビジョンで掲げた将来人口の達成に向けて、「住みたい、住み続けたい あかがねのまち」の実現を目指し、4つの基本目標を掲げ、16の具体的な施策に取り組みます。なお、基本目標4については、基本目標1～3を補完する横断的な目標になっています。

(4つの基本目標と7つ数値目標)

第2期総合戦略における5年間の基本目標の達成の度合を図るために、数値目標を設定します。

基本目標 1

新たな雇用の創出と産業を支える人づくりに努め、地元産業を振興します

数値目標 1

①雇用保険被保険者数、②市内製造品出荷額等

基本目標 2

居住地・観光地としての魅力を高め、関係人口を創出し、交流人口・定住人口を拡大します

数値目標 2

③年間社会増減数、④年間観光入込客数

※**関係人口**とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々のことをいいます。

基本目標 3

浜っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに、健康長寿社会を実現します

数値目標 3

⑤年間出生数（合計特殊出生率）、⑥健康寿命（平均寿命）

基本目標 4

市域・組織を越えた連携を深め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

数値目標

⑦「新居浜市の住みごころ」を満足、やや満足と回答した割合

第2期 総合戦略の読み方とポイント

(数値目標の解説)

①雇用保険被保険者数とは？

1週間の所定労働時間が20時間以上であり、かつ、同一の事業主に引き続き31日以上の雇用見込みがある場合、雇用される労働者は、原則として雇用保険の被保険者となります。

②市内製造品出荷額等とは？

本市にある従業員数4人以上の事業所による、1年間における製造品出荷額、加工賃収入額、くず廃棄物の出荷額及びその他収入額の合計をいいます。

③年間社会増減数とは？

本市へ他の行政域からの転入あるいは他の行政域への転出によって生じる増減のことをいいます。

④年間観光入込客数とは？

本市の観光施設を訪れた方々や観光行事等に参加された方々の合計を表しています。

⑤年間出生数（合計特殊出生率）とは？

年間出生数とは、1年間に生まれた子の数をいい、合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に何人の子を産むかを表したものです。

⑥健康寿命とは？

健康寿命は、日常生活動作が自立している期間の平均（要介護2以上になるまでの期間）とし、疾病予防と健康増進、介護予防などによって、平均寿命と健康寿命の差を短縮することができれば、個人の生活の質の低下を防ぐとともに、社会保障負担の軽減も期待できます。

⑦「新居浜市の住みごころ」を満足、やや満足と回答した割合とは？

時代に合ったまちづくりが進んでいるかどうかの答えを、市民の皆さんにアンケート形式でお伺いし、評価するものです。

第2期 総合戦略の読み方とポイント

(16の施策と29のKPI)

施策の進捗の度合を図るためにKPIを設定します。KPIとは、重要業績評価指標といわれるもので、施策ごとの達成すべき成果目標となります。16の施策のすべてに、全部で29のKPIを設定しました。

※KPI (Key Performance Indicator) は、「キーピーアイ」と読み、ここでは「重要業績評価指標」と訳します。

基本目標 1

新たな雇用の創出と産業を支える人づくりに努め、地元産業を振興します

施策1-1 ものづくり産業の振興

KPI① 県・市が支援した展示会等での市内企業の成約額

KPI② 市内新規高等学校卒業者の市内製造業への就職内定者数

KPI③ 新居浜ものづくり人材育成協会が実施する研修充足率

施策1-2 新産業の創出、創業への支援

KPI④ 企業立地促進条例による成長分野促進奨励金の交付件数

KPI⑤ 市の創業支援による創業件数

施策1-3 地元産業の振興

KPI⑥ 中心商店街における空き店舗活用事業等補助件数

KPI⑦ 市内総生産における第一次産業の額

施策1-4 住友各社との連携強化と企業誘致の促進

KPI⑧ 企業立地奨励金の対象となる設備投資額

基本目標 2

居住地・観光地としての魅力を高め、関係人口を創出し、交流人口・定住人口を拡大します

施策2-1 移住・定住の促進

KPI⑨ 移住者数

KPI⑩ 奨学金返済支援事業を利用した市内新規就職者数

施策2-2 交流人口の拡大

KPI⑪ マイントピア別子（端出場）入込客数

KPI⑫ 地域ブランド調査全国ランキング

施策2-3 関係人口の創出・拡大

KPI⑬ 企業版ふるさと納税企業数

KPI⑭ 全国にいほま倶楽部会員数

第2期 総合戦略の読み方とポイント

基本目標 3

浜っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに、健康長寿社会を実現します

施策3-1 少子化対策の充実

KPI⑮ イベント等をきっかけとした婚姻数

KPI⑯ 新居浜市女性活躍等推進事業所認定数

施策3-2 子育て支援の充実

KPI⑰ 地域子育て支援拠点施設延べ利用者数

KPI⑱ 子育て支援の充実を満足、やや満足と回答した割合

施策3-3 教育環境の整備

KPI⑳ 学習用端末を使った授業がわかりやすいと回答した割合

KPI㉑ 学校情報化優良校の認定

施策3-4 健康寿命の延伸

KPI㉒ がん検診受診率（アンケート）

KPI㉓ 健康長寿地域拠点の登録者数

基本目標 4

市域・組織を越えた連携を深め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

施策4-1 時代に合ったまちづくりの推進

KPI㉔ SDGs推進企業登録制度登録数

KPI㉕ 居住誘導区域内における人口の割合

施策4-2 健康で豊かな生活が送れるまちづくりの推進

KPI㉖ 文化芸術施設利用者数

KPI㉗ 体育施設利用者数

施策4-3 安全・安心のまちづくりの推進

KPI㉘ 市内の防災士の数（うち、女性の数）

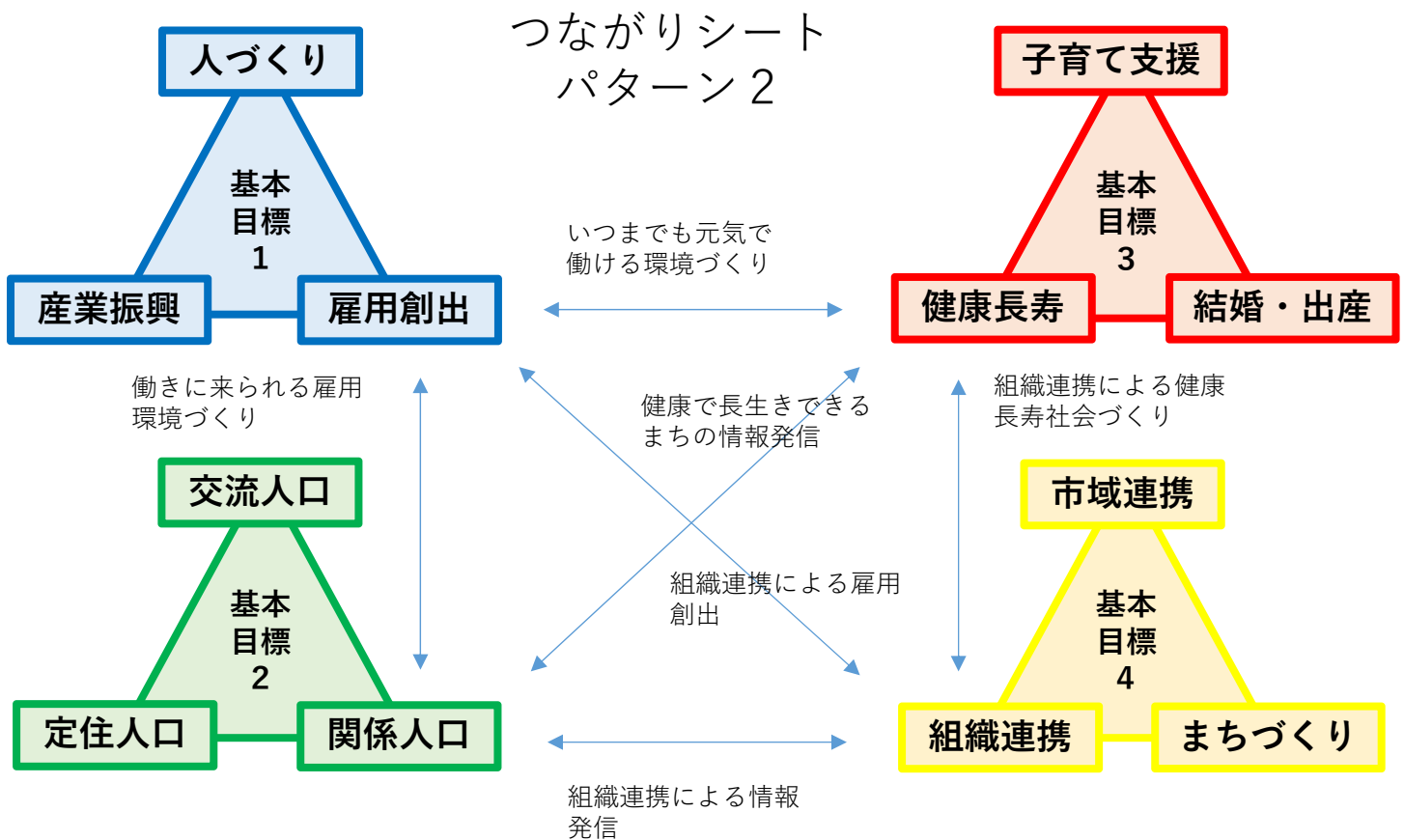
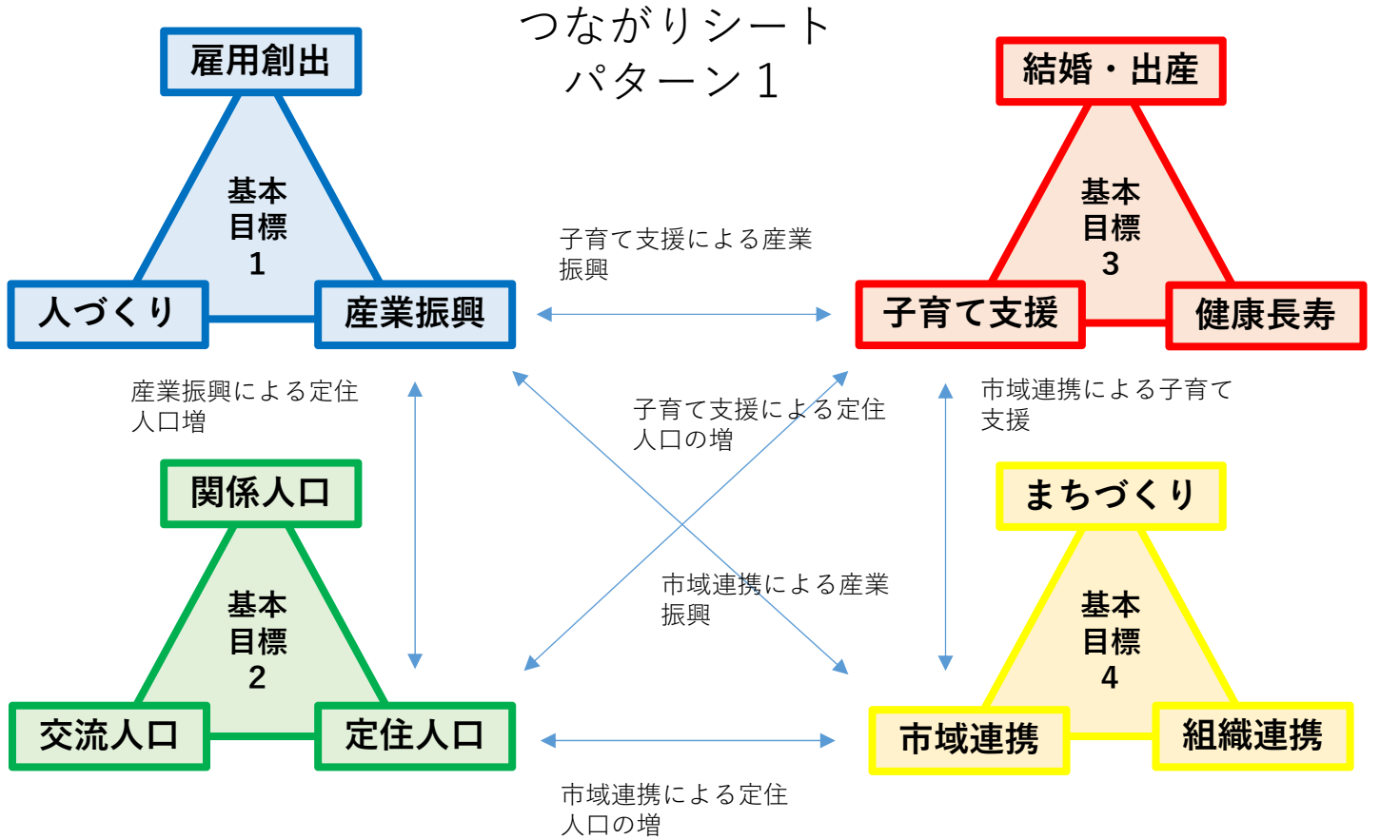
施策4-4 協働のまちづくりの推進

KPI㉙ みらい会議開催回数

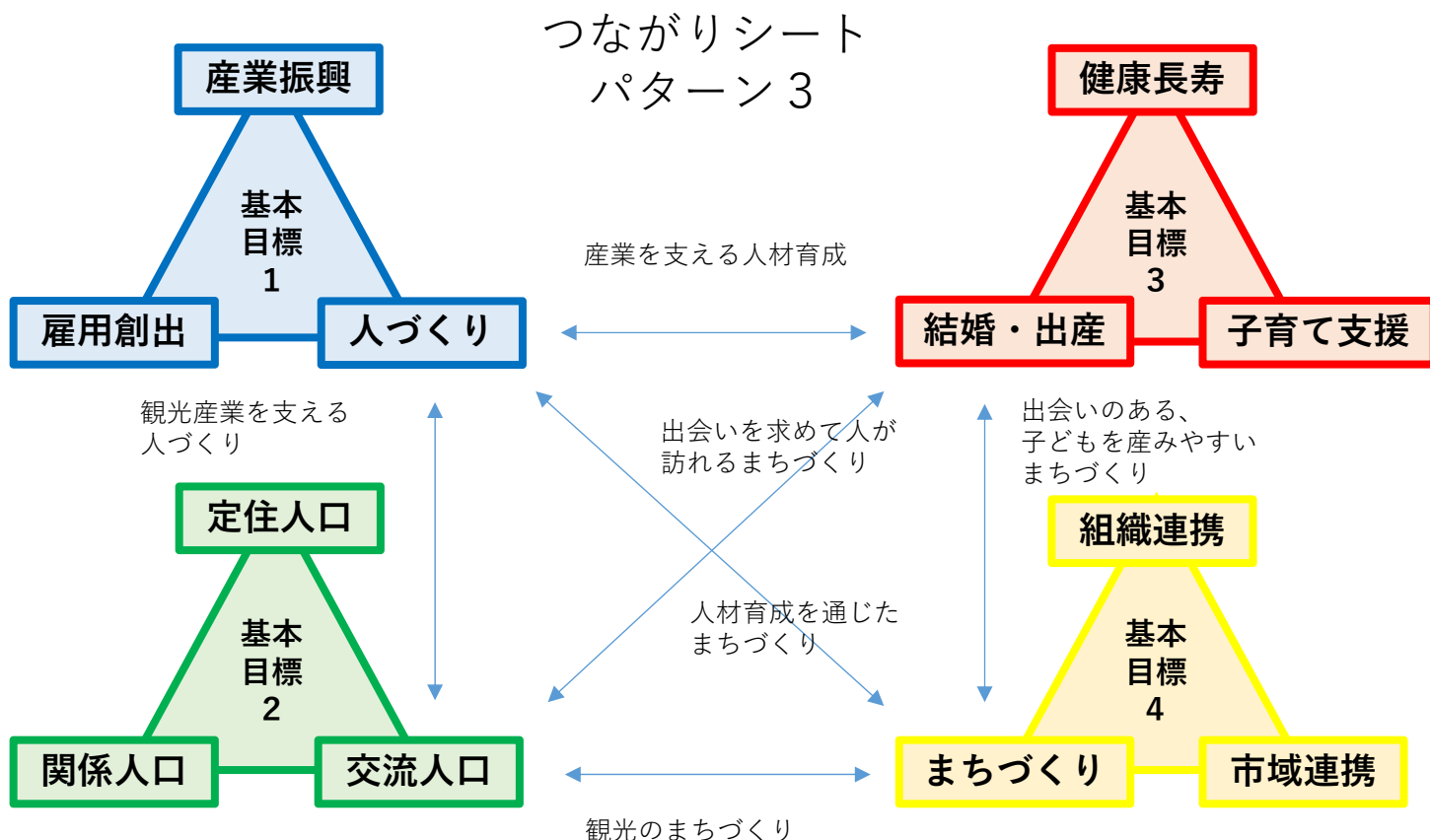
施策4-5 3市（新居浜・西条・四国中央）連携の推進

KPI㉚ 連携して行った事業数

第2期 総合戦略の読み方とポイント



第2期 総合戦略の読み方とポイント



総合戦略の基本目標や施策は、密接につながりがあります。みなさんも身近な課題や取組を当てはめてみてください。みなさん一人ひとりが、地域づくりに関わっているということがわかります。つながりシートは、巻末資料40ページにあります。

また、目次には各項目ごとに関係の深いSDGsのロゴマークを記載しています。

「SDGs（エスディーゼズ）」とは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年の国連サミットで、国連加盟国193か国の満場一致で採択された、2016～2030年で達成する行動計画です。「貧困をなくそう」から始まる17の目標と169のターゲットで構成されています。経済・環境・社会の三側面の調和を図り、誰一人取り残さない社会の実現に向けた世界の共通目標です。17の目標は相互につながりを持っており、各国、各地域のまちづくりとも密接につながっています。このようなことから、新居浜市総合戦略においても、SDGsの達成を意識した計画としています。

新居浜市総合戦略は、新居浜市民のみなさん一人ひとりのためにあります。数値目標やKPIなどで、新居浜市の現状を確認していただき、「住みたい、住み続けたい あかがねのまち」の実現に向けて、一緒に地域を創っていきましょう！

基本目標1

新たな雇用の創出と産業を支える人づくりに努め、地元産業を振興します

数値目標	基準値	目標値
①雇用保険被保険者数	37,811人 (H30)	39,900人 (R7)
②市内製造品出荷額等	7,024億円 (H28)	8,500億円 (R4)

施策1-1 ものづくり産業の振興

本市の基幹産業である「ものづくり産業」において課題となっている新たな取引先の開拓や人材不足の解消、技術・技能の伝承を支援します。また、コスト削減による収益力の改善等の取組を支援するとともに、高付加価値製品の開発に対する支援も行います。

KPI	基準値	目標値
①県・市が支援した展示会等での市内企業の成約額（累計）	17億7千万円 (H26～H30)	47億7千万円 (H26～R7)
②市内新規高等学校卒業者の市内製造業への就職内定者数	70人 (H30)	90人 (R7)
③新居浜ものづくり人材育成協会が実施する研修充足率（平均）	92% (H27～H30)	100% (R2～R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1) 販路開拓への支援、新事業展開・産官学金連携を推進します。

「新居浜ものづくりブランド」の全国への情報発信や中小企業振興条例により、市内中小企業の販路拡大や新たな事業展開等の取組を支援するとともに、産業界、行政、産業支援機関、教育機関、金融機関等の連携を推進します。

- ・「新居浜ものづくりブランド」認定企業に対する販路開拓等の支援
- ・新たな事業展開や新製品開発への支援
- ・中小企業振興条例による販路開拓等への支援

(2)ものづくり人材の確保と育成を支援します。

高校生を対象とした就職説明会の開催やものづくり産業のイメージアップにつながる効果的なPRの実施など、人材の確保に向けた取組を支援します。また、関係機関と連携し、企業ニーズに応じた人材育成システムを構築するとともに、指導者の養成や若年労働者の技術・技能の向上を図ります。

- ・中小企業の人材確保のためのスキルアップやマッチングの支援
- ・小中学生のものづくり体験事業や高校生等のインターンシップ、就職説明会等の実施
- ・市外からの新規雇用者への住宅手当制度に対する支援
- ・インターンシップに参加する大学生等に対する支援
- ・優れた技術者を顕彰する「新居浜ものづくりマイスター」制度の運用
- ・若手現場従業員の紹介等による製造業界のイメージアップ
- ・全国選抜高校生溶接競技会in新居浜の開催支援
- ・中小企業振興条例による人材育成研修に対する支援
- ・ものづくり高度技能研修の実施に対する支援

(3)中小企業の経営体質の強化と企業価値の向上を支援します。

市内中小企業の経営マネジメントやコスト削減、利益率向上に向けた取組を推進するとともに、企業価値の向上を目指す市内中小企業の取組を支援します。

- ・コスト削減や利益率向上のための中小企業への専門家の派遣
- ・中小企業振興条例による生産性向上への支援

施策1-2 新産業の創出、創業への支援

新たなクリーンエネルギー関連産業や、今後成長が見込まれる産業の育成を支援します。また、平成27年5月「産業競争力強化法」に基づく、「創業支援事業計画」の認定を受けており、この計画のもと更なる創業の支援を行います。

KPI	基準値	目標値
④企業立地促進条例による成長分野促進奨励金の交付件数（平均）	2件 (H27～H30)	3件 (R2～R7)
⑤市の創業支援による創業件数（平均）	15件 (H28～H30)	22件 (R2～R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)エネルギー関連産業や成長産業の創出を支援します。

次代を担うエネルギー関連産業や今後成長が見込まれる産業の創出に向けた取組を支援します。

- ・企業立地促進条例による成長分野の産業に対する支援
- ・水素関連技術等への地域産業の進出支援

(2)意欲ある起業家等を支援します。

金融機関等と連携し、起業を検討している方に対するきめ細やかな支援体制の充実を図るとともに、起業の初期費用に対する補助制度を活用し、新たなビジネスの立ち上げや雇用創出を支援します。

- ・「創業支援事業計画」に基づく創業支援体制の充実
- ・創業に対する経済的支援と女性創業者への重点支援

(3)新たなビジネスモデルの構築等による地域経済の発展を促進します。

IoT、ビッグデータ、5G等の第4次産業革命関連技術を活用した新事業の創出を支援します。

★先進的技術への実証支援

※IoT (Internet of Things) とは、様々なモノが通信機能を持ち、インターネットを通じて、相互に情報交換などが行える仕組みをいいます。

※ビッグデータとは、大容量のデジタルデータであり、事業に役立つ知見を算出するためのデータをいいます。

※5Gとは、第5世代移動通信システムのことです。「高速大容量」「高信頼・低遅延通信」「多数同時接続」という3つの特色を持っています。

施策1-3 地元産業の振興

中心商店街の活性化に向けた取組や第一次産業の新たな事業展開を支援します。また、新居浜ブランドの育成を支援し、地元産業の活性化を図ります。

KPI	基準値	目標値
⑥中心商店街における空き店舗活用事業等補助件数（累計）	9件 (H27～R1)	18件 (R2～R7)
⑦市内総生産における第一次産業の額	1,999百万円 (H28)	2,100百万円 (R3)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)中心商店街の活性化を支援します。

新居浜商工会議所、新居浜商店街連盟、新居浜市の3者で構成する新居浜市まちづくり協議会において、銅夢にいほまの有効活用を図るとともに、空き店舗の活用に向けた取組を支援し、中心商店街の活性化を図ります。

- ・新居浜市まちづくり協議会における中心市街地活性化の方策の検討
- ・中小企業振興条例による空き店舗活用への支援

(2)第一次産業の新たな取組を支援します。

地産地消を推進するため、別子山地区の市有林等の森林整備と別子木材センターの活性化を図ります。また、大島七福芋（白いも）の安定供給をはじめ、第一次産業の担い手育成を支援します。

- ・別子山森林整備と別子木材センターの活性化
- ・担い手育成（第一次産業）
- ・大島七福芋（白いも）の作付け拡大

(3)産業を支える人材の確保・育成と協働を推進します。

市民の誰もが働くことができる環境を整え、就業を支援します。

- ★ 大学等との連携によるリカレントプログラムの開発と運用
- ★ 働く意欲のある女性の雇用促進
- ★ プロフェッショナル人材確保に対する支援

※リカレントプログラムとは、リカレント教育を行うプログラムを言い、社会に出た者（社会人）が教育機関に入り直して改めて教育を受けるということ、および、そうした活動を支援する制度や取り組み、考え方のことを言います。

施策1-4 住友各社との連携強化と企業誘致の促進

本市は、別子銅山の開坑以来、住友各社とともに発展を遂げてきた歴史があり、今後においても、本市経済に大きなウエイトを占める住友各社との良好な関係を継続・深化する必要があります。また、本市の持続的発展のため、企業誘致を促進します。

KPI	基準値	目標値
⑧企業立地奨励金の対象となる設備投資額 (平均)	110億円 (H27～H30)	160億円 (R2～R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)住友各社との関係強化と企業誘致を促進します。

住友各社への訪問を通じて、住友各社との良好な関係を継続・深化し、共存共栄を図り、持続可能な経済活動を促進します。また、企業立地促進条例に基づく立地等の支援により企業誘致を促進するとともに、新たな企業用地の確保に努めます。

- ・住友各社と市、経済団体のトップミーティングや実務担当者レベルでの意見交換
- ・企業立地促進条例に基づく立地等に対する支援
- ・新たな企業用地の確保
- ★ ICT企業の誘致

基本目標2

**居住地・観光地としての魅力を高め、関係人口を創出し、
交流人口・定住人口を拡大します**

数値目標	基準値	目標値
③年間社会増減数	△342人 (H30)	△120人 (R7)
④年間観光入込客数	2,514,304人 (H30)	2,808,000人 (R7)

施策2-1 移住・定住の促進

本市では、ここ数年、転出者数が転入者数を上回る社会減の状況が続いていることから、その改善に向け、移住相談体制の整備充実や本市出身者の地元への就職などのUターンの促進、本市への定住の促進を図ります。

KPI	基準値	目標値
⑨移住者数	70人 (H30)	250人 (R7)
⑩奨学金返済支援事業を利用した市内新規就職者数（累計）	24人 (H30)	125人 (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)移住・定住を促進します。

移住希望者の視点に立ち、雇用や住まい等の移住に関する様々な相談に対応するための相談窓口の充実を図るとともに、首都圏等で開催される移住イベントに積極的に出展し、豊かな自然環境、雇用環境など本市の魅力を情報発信するとともに、Uターン以外のIJターンによる本市への転入者の増加を図るため、本市でのお試し移住（滞在）、空き家バンク制度等、移住検討者への支援体制の充実を図ります。

- ・移住相談窓口による相談・支援体制の充実
- ・首都圏・関西圏の地方移住イベントへの積極的な参加
- ・お試し移住（滞在）の推進
- ・空き家バンク制度の運用

(2)本市出身大卒者等のUターンを促進します。

奨学金返済事業や松山市等での本市企業の就職説明会の開催等により、本市へのUターン、地元就職を促進します。また、市内中小企業における女性が活躍できる環境づくりへの取組を支援します。

- ・地元企業等への就職者を対象とした奨学金返済支援事業の実施
- ・進学で地元を離れる学生等への市内企業紹介等の本市情報の積極的な発信
- ・松山市等での市内企業合同説明会等の開催
- ・本市へのUターンを希望する人を対象とした返済免除の奨学金制度の運用

施策2-2 交流人口の拡大

本市の発展の礎となった別子銅山の近代化産業遺産群や新居浜太鼓祭りは、本市固有の貴重な観光資源であることから、より効果的な情報発信や観光商品の開発などに取り組みます。また、シティプロモーションの推進、物産の振興などに取り組み、交流人口の増加を図ります。

KPI	基準値	目標値
⑪マイントピア別子（端出場）入込客数	605,775人 (H30)	728,000人 (R7)
⑫地域ブランド調査全国ランキング	魅力度483位 認知度481位 (R1)	魅力度200位 認知度200位 (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)観光を振興します。

別子銅山の近代化産業遺産群等を新居浜固有の観光資源として誘客促進を図るとともに、新居浜太鼓祭りのブランド力向上やPRに取り組み、入込観光客数の増加を図ります。

- ・観光宣伝の充実
- ・着地型旅行商品の開発
- ・四国三大祭り「新居浜太鼓祭り」の観光PR
- ・観光客の受入環境の整備充実

(2)物産を育成し、支援します。

新たな価値を持った物品・食品の創出等、地域の特産品づくりを育成・支援します。

- ・郷土料理や土産物等新たな特産品の開発

(3)集客力のある各種イベントを開催します。

県内外から集客できるイベントの開催やスポーツなどの全国大会、地方大会の誘致により、年間を通じた交流人口の拡大を目指します。

- ・魅力あるイベントの開催
- ・文化・体育施設等を活用した各種イベントの開催
- ・スポーツなどの全国大会・地方大会の誘致

(4)本市のイメージアップと認知度向上を推進します。

本市固有の魅力を効果的にSNS等のWEB媒体を活用し、市外に向けて積極的に情報発信を行い、イメージアップと認知度の向上を図ります。

- ・シティプロモーションの推進

(5)インバウンドを推進します。

台北（台湾）松山線の就航に伴い、県と連携しながら、外国人観光客の誘致を進め、本市のすばらしさを世界に発信します。また、海外企業や外国人に対して積極的な情報発信を行います。

- ★外国人観光客の誘致促進

施策2-3 関係人口の創出・拡大

市外の人とのつながりを構築し、積極的で、確実な情報発信を行うことで、本市に興味と関心を持ってもらい、観光や移住・定住につないでいくための、関係人口を積極的に創出します。

KPI	基準値	目標値
⑬企業版ふるさと納税企業数	— (R1)	20社 (R7)
⑭全国にいほま倶楽部会員数	532人 (R1)	600人 (R7)

■ 主な取組、事業

(1)市への愛着を育み、誇りを醸成します。

別子銅山の発展とともに培われた文化や歴史が、市民の誇りとなり愛着が育まれるようシティブランド戦略を推進します。

・シティブランド戦略の推進（インナーブランディング）

・転入者ウェルカム事業の充実

★新居浜市史の編さん

※**インナーブランディング**とは、社内を対象としてブランドを浸透させていく活動で、ここでは新居浜市民への働きかけをいいます。

(2)企業版ふるさと納税の活用を促進します。

本市の施策等の情報を積極的に発信し、賛同を得られる企業から寄付を募り、より魅力のあるまちづくりに有効活用します。

★企業版ふるさと納税のPRと活用促進

(3)民間人材を積極的に活用します。

本市に縁があり、専門的な知識を持った人を積極的にアドバイザーとして、まちづくりに参画してもらうとともに、連携協力関係を構築することにより、積極的なPR活動を展開します。

★各種アドバイザーの登用

★にいほま応援大使との連携構築

(4)情報発信を強化します。

本市に縁のある人への積極的な情報発信と交流を行うとともに、観光物産展等を通じ、市の情報を発信します。

・シティブランド戦略の推進（アウトーブランディング）

・本市に縁のある人たちへの情報発信と交流促進

※**アウトーブランディング**とは、社外を対象としてブランドを普及させていく活動です。ここでは市外へ向けた情報発信をいいます。

基本目標3

浜っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を充実するとともに、健康長寿社会を実現します

数値目標	基準値	目標値
⑤年間出生数【合計特殊出生率】	781人 (R1) 【1.80】 (H20~H24)	900人 (R7) 【1.90】 (H30~R4)
⑥健康寿命【平均寿命】	男78.6 女83.2 (H29) 【男80.1】 【女86.7】 (H29)	男79.5 女84.2 (R4)

施策3-1 少子化対策の充実

本市における年間出生数は毎年減少傾向にあり、歯止めをかけるためにも若い世代の結婚に向けた取組や妊娠・出産の各ステージにおける切れ目ない支援体制を構築するとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進します。

KPI	基準値	目標値
⑮イベント等をきっかけとした婚姻数（累計）	14組 (H30)	60組 (R7)
⑯新居浜市女性活躍等推進事業所認定数（累計）	12事業所 (H30)	30事業所 (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)若者の出会いの場を創出します。

出会いから結婚につながるサポート体制の充実を図り、婚姻率の向上と若者の定住を促進します。

- ・男女の出会いの場の創出
- ・結婚サポーター制度の充実

(2)妊娠・出産を支援します。

子どもを持ちたいと希望する市民が安心して妊娠・出産できるよう、妊産婦、乳幼児に対する保健の充実を図るとともに、不妊治療・不育治療に対する支援の充実を図ります。

・不妊治療・不育治療への支援の充実

★「すまいるステーション」の充実

※すまいるステーションとは、2018年10月にオープンした「子育て世代包括支援センター」の愛称です。

(3)ワーク・ライフ・バランスを推進します。

女性の社会進出、活躍を促進するため、ワーク・ライフ・バランスを推進し、男性の家事・育児への参加を促進します。

・女性の活躍を推進するための環境を整備する事業所等の支援・育成

・イクボスの育成

(4)個々人の希望をかなえる少子化対策を推進します。

市民へのアンケート等を実施することで、それぞれが抱える課題をニーズとして捉え、担当課所につなぐことで、事業化を検討します。

★アンケートの実施等によるニーズ把握と事業化の推進

施策3-2 子育て支援の充実

子育て世帯が安心して子育てができるよう、経済的支援を拡充するとともに、子育てのしやすい環境整備を推進します。

KPI	基準値	目標値
⑰地域子育て支援拠点施設延べ利用者数	55,260人 (R1)	56,000人 (R7)
⑱子育て支援の充実を満足、やや満足と回答した割合	21.0% (H30)	50.0% (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)子育て世帯への経済的支援を充実します。

子どもの医療費助成などにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。

- ・高校生までの子どもの医療費の助成
- ・多子家庭に対する経済的支援の拡充
- ・「子育て応援パスポート」の交付

★「はまっこすたあと応援券」等の配布

(2)安心して子育てができる環境を整備します。

四国一子育てにやさしいまちの実現に向けて、安心して子育てのできる環境の整備、充実を図ります。

★産前・産後の母子・育児の支援

- ・放課後児童クラブの充実
- ・都市公園への遊具等の整備充実
- ・子育て支援に係るネットワークの構築

★保育園等の施設環境整備

施策3-3 教育環境の整備

グローバル化や情報化など社会の急激な変化に伴い、子どもたちが未来を生き抜くための力を身につけられるよう、多様な教育の場の提供や小・中学校への効果的なICT機器の導入など教育環境の整備、充実を図ります。

KPI	基準値	目標値
⑳学習用端末を使った授業がわかりやすいと答えた割合	— (R1)	100% (R7)
㉑学校情報化優良校の認定	25.0% (R3)	100.0% (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)安心して子どもを育てるため、多様な教育の場を提供します。

子どもの安心・安全な居場所づくり、学習支援や健全育成に資する取組など地域と連携した特色ある教育活動を推進します。

★放課後まなび塾・放課後子ども教室の充実

★小・中学校等の施設環境整備

(2)確かな学力定着のため、学校教育の充実を図ります。

将来の社会において、ICTを効果的に活用し、社会の変化に対応できる創造性のある人材を育成するため、小・中学校のICT環境の整備など学校教育の充実を図り、学力の定着と向上を図ります。

★小・中学校におけるICT環境の整備

施策3-4 健康寿命の延伸

本市の健康寿命が全国平均、愛媛県平均を下回っている現状を踏まえ、生活習慣病の予防や介護予防などに積極的に取り組み、健康寿命の延伸を図ります。

KPI	基準値	目標値
①がん検診受診率（アンケート）	33% (H30)	40.0% (R7)
②健康長寿地域拠点の登録者数	1,834人 (R1)	2,200人 (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)健康長寿社会を実現します。

健康に対する意識啓発や食育の推進を図るとともに、地域コミュニティを活用した健康づくりを積極的に支援し、市民の健康寿命の延伸を図ります。

- ・健康づくり事業への参加のポイント化による健康意識の向上
- ・ウォーキングをはじめとする運動の推進
- ・特定健診及び各種がん検診の受診料の無料化継続による早期発見・治療の推進
- ・生活習慣病予防につながる食育の推進
- ・自治会館等を利用した高齢者の健康づくり、仲間づくりの推進

基本目標4

市域・組織を越えた連携を深め、地域特性を踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

数値目標	基準値	目標値
⑦「新居浜市の住みごこち」を満足、やや満足と回答した割合	57.7% (H30)	80.0% (R7)

施策4-1 時代に合ったまちづくりの推進

変化の激しい社会に対応できるまちづくりを進めるため、Society5.0を実現できる、持続可能な時代に合ったまちづくりを推進します。

KPI	基準値	目標値
②3 SDGs 推進企業登録制度登録数 (累計)	— (R1)	25件 (R2~R7)
②4 居住誘導区域内における人口の割合	40.4% (R1)	42.6% (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1) Society5.0を活用したまちづくりを推進します。

新しい情報技術社会に対応できるまちづくりを推進します。

★スマートシティの推進

※Society5.0とは、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会をいいます。

※スマートシティとは、情報通信技術や人口知能などの先端技術やビッグデータを活用し、エネルギーや交通、行政サービスなどを効率的に管理運用する都市概念をいいます。

※居住誘導区域とは、一定エリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう居住を誘導すべき区域をいいます。

(2) SDGsを原動力としたまちづくりを推進します。

SDGsが掲げる17の目標を達成するための連携を図るとともに、各種計画においてはSDGsの理念を盛り込んだ策定を推進します。

★SDGsを前提とした各種計画の策定と推進

(3) コンパクトなまちづくりを推進します。

人口減少社会の進展を踏まえ、将来的に維持することができる公共施設の総量を見極め、計画的に統廃合や再編を図るとともに、まちのコンパクト化を推進します。

- ・学校等の公共施設の統廃合、再編の推進
- ・持続可能なコンパクトなまちづくりを目的とした立地適正化計画の推進
- ・持続可能な污水处理体制の構築

施策4-2 健康で豊かな生活が送れるまちづくりの推進

一人ひとりが健康で、豊かな生活を送れるまちづくりを進めるために、文化・スポーツの推進を図り、生涯を通して活躍できる生涯活躍のまちの実現に向けた取組を進めます。また、木のおもちゃを活用した木育を推進します。

KPI	基準値	目標値
②⑤文化芸術施設利用者数	347,516人 (H30)	383,000人 (R7)
②⑥体育施設利用者数	532,828人 (H30)	587,000人 (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1) 生涯活躍のまちを推進します。

平成29年に策定したRCC新居浜アクションプランに基づく「人生100年わくわく支援プラン」を推進します。

- ・RCC構想に基づくまちづくりの推進
- ★生涯活躍のまち拠点施設の整備による、多世代の交流の促進や起業に向けた支援
- ★高齢者が仕事を通じて社会に貢献できる環境づくり

(2)文化芸術活動を推進します。

美術館機能を有する総合文化施設を有効に活用した魅力的な企画展など、優れた文化芸術に触れる機会を市民に提供するとともに、市民の創作活動や自主的な文化芸術活動を支援します。

- ・総合文化施設を核とした優れた文化芸術に触れる機会の提供
- ・市民の文化芸術活動の支援

(3)スポーツを推進します。

多くの市民が楽しみながら日常生活の中に運動、スポーツを取り入れ、健康で充実した生活を実現できるよう、各種スポーツ教室の開催等、体を動かす機会や場所を提供します。また、競技力の向上を図ります。

- ・市民のライフステージに応じた運動・スポーツに親しむ機会の創出
- ・競技力向上のための戦略的な支援

(4)木育を推進します。

別子銅山の繁栄とともに、森林の環境保護に努めてきた先人の思いが伝わる木のぬくもりを子どもたちに感じてもらい、豊かな感性を育みます。

- ★地元産木材を使用した誕生祝い品の贈呈
- ★木育キャラバン等の実施

※木育キャラバンとは、「認定NPO法人 芸術と遊び創造協会」が提唱した子どもから大人までの幅広い世代に、木と触れ合うことを通じて森林の重要性や木を使うことへの理解を深めてもらうための活動をいいます。

施策4-3 安全・安心のまちづくりの推進

近い将来発生が予測されている東南海・南海地震に対する備えや近年増加の一途をたどる管理放棄住宅への対策を推進します。

KPI	基準値	目標値
⑳市内の防災士の数（うち、女性の数）	507人 (106人) (H30)	1,050人 (260人) (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)防災・減災対策を強化します。

関係機関と連携し、自助、共助、公助の役割分担による防災・減災体制の強化を図ります。

- ・自助・共助・公助の役割分担による防災体制の強化・充実

(2)空き家対策を推進します。

「新居浜市空き家等対策計画」の推進による、総合的な空き家対策に取り組みます。

- ・空き家（管理放棄住宅等）対策の推進

(3)人権が尊重され、すべての人が共生できるまちづくりを推進します。

一人ひとりの人権が尊重され、障がい者、女性、外国人などが区別されることなく共生でき、豊かに暮らせる地域づくりを推進します。

- ★多文化共生社会の実現

(4)地球にやさしい暮らしを実現します。

豊かな地域社会を後世に残していくために、環境に配慮した地球にやさしいまちづくりを推進します。

- ・地球温暖化対策の推進
- ・環境美化の推進

施策4-4 協働のまちづくりの推進

多様化する地域課題に対応した住みやすいまちづくりを推進するために、協働の理念をもった話し合いの場を創出し、つながりが生まれる取組を推進します。

KPI	基準値	目標値
⑳ 未来会議開催回数	10回 (R1)	20回 (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)住民が主体となったまちづくりを推進します。

公民館や学校等を活動拠点とする、概ね旧小学校区を単位とした地域で活動する各種団体、学校、企業などが連携して地域の課題解決に向けた取組を推進します。

- ・新たな地域活動への取組の支援

(2)地方創生を支える人材の育成と協働を推進します。

人と人とのつながりや団体と団体とのつながりが生まれ、まちづくりについて話し合える「未来会議」を開催し、協働の関係構築を推進します。

- ・協働推進のための話し合いの場の創出

施策4-5 3市（新居浜・西条・四国中央）連携の推進

新居浜市、西条市、四国中央市の3市は、ものづくりの産業という共通の基盤を有し、生活圏の結びつきも強いことから、圏域全体の振興に向け、連携を推進します。

KPI	基準値	目標値
⑳連携して行った事業数	6事業 (H30)	8事業 (R7)

■ 具体的な事業、取組

【★は新規事業】

(1)ものづくりを共通の基盤とする3市の連携を推進します。

ものづくりを共通の産業基盤とし、人口規模の近い新居浜市、西条市、四国中央市の3市において、産業や雇用、観光等、圏域全体の発展につながる施策について、連携を推進します。

- ・3市が連携した観光の推進
- ・開催時期の近い秋祭りの合同PR
- ・首都圏、関西圏での3市圏域合同PRの実施
- ・合同の企業説明会、就職説明会等の開催

巻末資料（人口ビジョンと総合戦略の関連図）

新居浜市人口ビジョン

1. 現状分析

- ・本市の人口は、昭和55年をピークに減少
- ・合計特殊出生率（平成20～24年）は、1.80と四国内で最も高いものの、高齢化に伴う自然減、10代の転出超過に伴う社会減の状態が続く

2. 人口の将来展望

- 合計特殊出生率：令和42（2060）年に2.3を達成
- 社会増減：令和12（2030）年に転出者数と転入者数が均衡

令和22（2040）年まで **10**万人を維持
令和42（2060）年の目標人口 **9**万人

第2期新居浜市総合戦略

基本
目標

1

新

たな雇用の創出と産業を支える人づくりに努め、
地元産業を振興します

基本
目標

2

居

住地・観光地としての魅力を高め、関係人口を
を創出し、交流人口・定住人口を拡大します

基本
目標

3

浜

っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を
充実するとともに、健康長寿社会を実現します

基本
目標

4

市

域・組織を越えた連携を深め、地域特性を
踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

住みたい、住み続けたい あかがねのまち

巻末資料（第2期総合戦略の施策の体系）

基本
目標

1

新

新たな雇用の創出と産業を支える人づくりに努め、
地元産業を振興します

番号	施策	主な取組
1-1	ものづくり産業の振興	①販路開拓への支援、新事業展開・ 産官学金連携を推進します。 ②ものづくり人材の確保と育成を支援します。 ③中小企業の経営体質の強化と企業価値 の向上を支援します。
1-2	新産業の創出、創業への支援	①エネルギー関連産業や成長産業の創出を 支援します。 ②意欲ある起業家等を支援します。 ③新たなビジネスモデルの構築等による 地域経済の発展を促進します。
1-3	地元産業の振興	①中心商店街の活性化を支援します。 ②第一次産業の新たな取組を支援します。 ③産業を支える人材の確保・育成と協働を 推進します。
1-4	住友各社との連携強化と企業誘致の促進	①住友各社との関係強化と企業誘致を促進します。

数値目標	基準値	目標値
①雇用保険被保険者数	37,811人 (H30)	39,900人 (R7)
②市内製造品出荷額等	7,024億円 (H28)	8,500億円 (R4)

KPI	基準値	目標値
①県・市が支援した展示会等での市内企業の成約額（累計）	17億7千万円 (H26～H30)	47億7千万円 (H26～R7)
②市内新規高等学校卒業者の製造業への就職内定者数	70人 (H30)	90人 (R7)
③新居浜ものづくり人材育成協会が実施する研修充足率（平均）	92% (H27～H30)	100% (R2～R7)
④企業立地促進条例による成長分野促進奨励金の交付件数（平均）	2件 (H27～H30)	3件 (R2～R7)
⑤市の創業支援による創業件数（平均）	15件 (H28～H30)	22件 (R2～R7)
⑥中心商店街における空き店舗活用事業等補助件数（累計）	9件 (H27～R1)	18件 (R2～R7)
⑦市内総生産における第一次産業の額	1,999百万円 (H28)	2,100百万円 (R3)
⑧企業立地奨励金の対象となる設備投資額（平均）	110億円 (H27～H30)	160億円 (R2～R7)

巻末資料（第2期総合戦略の施策の体系）

基本
目標

2

居

住地・観光地としての魅力を高め、関係人口を
を創出し、交流人口・定住人口を拡大します

番号	施策	主な取組
2-1	移住・定住の促進	①移住・定住を促進します。 ②本市出身大卒者等のUターンを促進します。
2-2	交流人口の拡大	①観光を振興します。 ②物産を育成し、支援します。 ③集客力のある各種イベントを開催します。 ④本市のイメージアップと認知度向上を推進します。 ⑤インバウンドを推進します。
2-3	関係人口の創出・拡大	①市への愛着を育み、誇りを醸成します。 ②企業版ふるさと納税の活用を促進します。 ③民間人材を積極的に活用します。 ④情報発信を強化します。

数値目標	基準値	目標値
③年間社会増減数	△342人 (H30)	△120人 (R7)
④年間観光入込客数	2,514,304人 (H30)	2,808,000人 (R7)

KPI	基準値	目標値
⑨移住者数	70人 (H30)	250人 (R7)
⑩奨学金返済支援事業を利用した市内新規就職者数（累計）	24人 (H30)	125人 (R7)
⑪マイントピア別子（端出場）入込客数	605,775人 (H30)	728,000人 (R7)
⑫地域ブランド調査全国ランキング	魅力度483位 認知度481位 (R1)	魅力度200位 認知度200位 (R7)
⑬企業版ふるさと納税企業数	－ (R1)	20社 (R7)
⑭全国にいはま倶楽部会員数	532人 (R1)	600人 (R7)

巻末資料（第2期総合戦略の施策の体系）

基本
目標

3

浜

っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を
充実するとともに、健康長寿社会を実現します

番号	施策	主な取組
3-1	少子化対策の充実	①若者の出会いの場を創出します。 ②妊娠・出産を支援します。 ③ワーク・ライフ・バランスを推進します。 ④個々人の希望をかなえる少子化対策を推進します。
3-2	子育て支援の充実	①子育て世帯への経済的支援を充実します。 ②安心して子育てができる環境を整備します。
3-3	教育環境の整備	①安心して子どもを育てるため、多様な教育の場を提供します。 ②確かな学力定着のため、学校教育の充実を図ります。
3-4	健康寿命の延伸	①健康長寿社会を実現します。

数値目標	基準値	目標値
⑤年間出生数【合計特殊出生率】	781人 (R1) 【1.80】 (H20~H24)	900人 (R7) 【1.90】 (H30~R4)
⑥健康寿命【平均寿命】	男78.6 女83.2 (H29) 【男80.1】【女86.7】 (H29)	男79.5 女84.2 (R5)

KPI	基準値	目標値
⑮イベント等をきっかけとした婚姻数（累計）	14組 (H30)	60組 (R7)
⑯新居浜市女性活躍等推進事業所認定数（累計）	12事業所 (H30)	30事業所 (R2~R7)
⑰地域子育て支援拠点施設延べ利用者数	55,260人 (R1)	56,000人 (R7)
⑱子育て支援の充実を満足、やや満足と回答した割合	21.0% (H30)	50.0% (R7)
⑳学習用端末を使った授業がわかりやすいと回答した割合	- (H30)	100% (R7)
㉑学校情報化優良校の認定	25.0% (R3)	100.0% (R7)
㉒がん検診受診率（アンケート）	33% (H30)	40.0% (R7)
㉓健康長寿地域拠点の登録者数	1,834人 (R1)	2,200人 (R7)

巻末資料（第2期総合戦略の施策の体系）

基本
目標

4

市

域・組織を越えた連携を深め、地域特性を
踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

番号	施策	主な取組
4-1	時代に合ったまちづくりの推進	①Society5.0を活用したまちづくりを推進します。 ②SDGsを原動力としたまちづくりを推進します。 ③コンパクトなまちづくりを推進します。
4-2	健康で豊かな生活が送れるまちづくりの推進	①生涯活躍のまちを推進します。 ②文化芸術活動を推進します。 ③スポーツを推進します。 ④木育を推進します。
4-3	安全・安心のまちづくりの推進	①防災・減災対策を強化します。 ②空き家対策を推進します。 ③人権が尊重され、すべての人が共生できるまちづくりを推進します。 ④地球にやさしい暮らしを実現します。
4-4	協働のまちづくりの推進	①住民が主体となったまちづくりを推進します。 ②地方創生を支える人材の育成と協働を推進します。
4-5	3市（新居浜・西条・四国中央）連携の推進	①ものづくりを共通の基盤とする3市の連携を推進します。

数値目標	基準値	目標値
⑦「新居浜市の住みごころ」を満足、やや満足と回答した割合	57.7% (H30)	80.0% (R7)

KPI	基準値	目標値
②3 SDGs推進企業登録制度登録数（累計）	－ (R1)	25件 (R2～R7)
④居住誘導区域内における人口の割合	40.4% (R1)	42.6% (R7)
⑤文化芸術施設利用者数	347,516人 (H30)	383,000人 (R7)
⑥体育施設利用者数	532,828人 (H30)	587,000人 (R7)
⑦市内の防災士の数（うち、女性の数）	507人（106人） (H30)	1,050人（260人） (R7)
⑧みらい会議開催回数	10回 (R1)	20回 (R7)
⑨連携して行った事業数	6事業 (H30)	8事業 (R7)

巻末資料（数値目標・KPI記録シート）

基本
目標

1 新

たな雇用の創出と産業を支える人づくりに努め、
地元産業を振興します

数値目標	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
①雇用保険被保険者数	37,811人	35,365人	38,588人	38,491人	38,025人			39,900人
②市内製造品出荷額等	7,024億円	8,953億円(H30)	8,500億円(H31)	8,651億円(R2)	1兆553億円(R3)			8,500億円

KPI	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
①県・市が支援した展示会等での市内企業の成約額（累計）	17億7千万円	28億1千万円	33億3千万円	37億1千万円	39億7千万円			47億7千万円
②市内新規高等学校卒業者の製造業への就職内定者数（平均）	70人	76人	79人	73人	70人			90人
③新居浜ものづくり人材育成協会が実施する研修充足率（平均）	92%	59%	47%	45%	45%			100%
④企業立地促進条例による成長分野促進奨励金の交付件数（平均）	2件	3件	4.5件（6件）	4.7件（5件）	4.5件（4件）			3件
⑤市の創業支援による創業件数（平均）	15件	17件	23.5件（30件）	20.3件（14件）	21.5件（25件）			22件
⑥中心商店街における空き店舗活用事業等補助件数（累計）	9件	1件（1件）	1件（0件）	1件（0件）	1件（0件）			18件
⑦市内総生産における第一次産業の額	1,999百万円	1,139百万円	1,139百万円	1,084百万円	990百万円			2,100百万円
⑧企業立地奨励金の対象となる設備投資額（平均）	110億円	114億円	98億円（82億）	70.3億円（15億）	236.8億円（736億）			160億円

基本
目標

2 居

住地・観光地としての魅力を高め、関係人口を創出し、交流人口・定住人口を拡大します

数値目標	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
③年間社会増減数	△342人	△354人	△349人	△294人	△191人			△120人
④年間観光入込客数	2,514,304人	1,289千人	1,189千人	1,523千人	2,089千人			2,808,000人

KPI	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
⑨移住者数	70人	116人	156人	525人	366人			250人
⑩奨学金返済支援事業を利用した市内新規就職者数（累計）	24人	21人	44人（23人）	72人（28人）	93人（21人）			125人
⑪マイントピア別子（端出場）入込客数	605,775人	303,277人	286,648人	376,507人	409,877人			728,000人
⑫地域ブランド調査全国ランキング	魅力度483位 認知度481位	魅力度596位 認知度486位	魅力度415位 認知度497位	魅力度442位 認知度493位	魅力度438位 認知度457位			魅力度200位 認知度200位
⑬企業版ふるさと納税企業数	—	2社	7社（5社）	11社（4社）	17社（6社）			20社
⑭全国にいはま倶楽部会員数	532人	505人	530人	561人	581人			600人

巻末資料（数値目標・KPI記録シート）

基本
目標

3

浜

っ子を増やすため、結婚・出産・子育て支援を
充実するとともに、健康長寿社会を実現します

数値目標	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
⑤年間出生数【合計特殊出生率】	781人 【1.80】	773人 【1.75】	773人 【1.75】	747人 【1.75】	712人 【1.60】			900人 【1.90】
⑥健康寿命【平均寿命】	男78.6 女83.2 【男80.1】 【女86.7】	男78.8 女83.0 【男80.3】 【女86.3】	男78.9 女83.3 【男80.5】 【女86.7】	男79.1 女83.7 【男80.6】 【女87.2】	男79.2 女83.7 【男80.8】 【女87.2】			男79.5 女84.2
KPI	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
⑮イベント等をきっかけとした婚姻数（累計）	14組	24組	32組	38組	46組			60組
⑯新居浜市女性活躍等推進事業所認定数（累計）	12事業所	15事業所	18事業所	21事業所	22事業所			30事業所
⑰地域子育て支援拠点施設延べ利用者数	55,260人	24,207人	17,837人	28,352人	34,770人			70,000人
⑱子育て支援の充実を満足、やや満足と回答した割合	21.0%	47.7%	42.1%	31.05%	36.25%			30.0%
㉑学習用端末を使った授業がわかりやすいと答えた割合	—		89%	90%	81%			100%
⑳学校情報化優良校の認定	25.0%		25%	75%	96%			100.0%
㉒がん検診受診率（アンケート）	33%	23.3%	19.3%	26.4%	43.4%			40.0%
㉓健康長寿地域拠点の登録者数	1,834人	1,802人	1,641人	1,734人	1,766人			2,200人

基本
目標

4

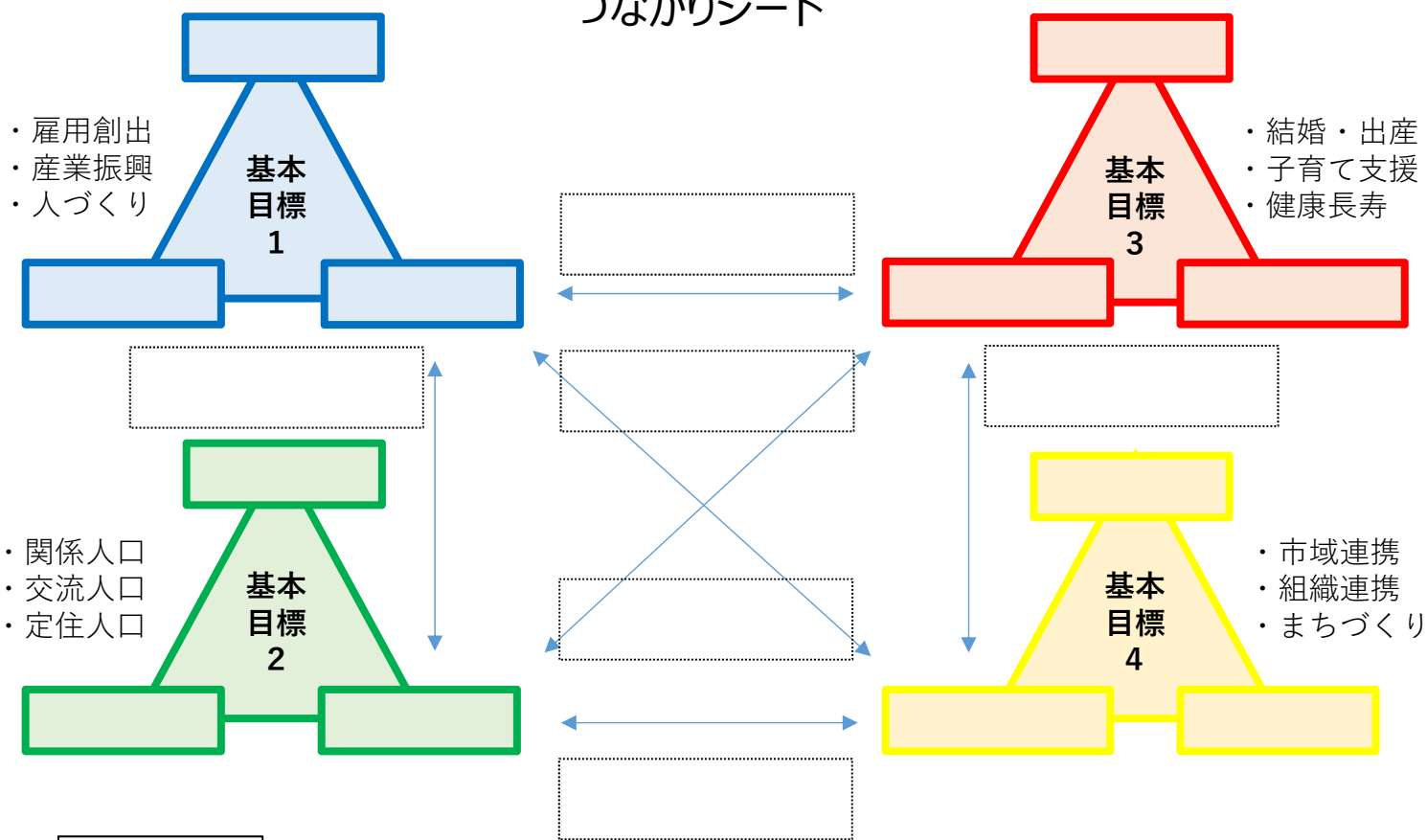
市

域・組織を越えた連携を深め、地域特性を
踏まえた時代に合ったまちづくりを推進します

数値目標	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
㉔「新居浜市の住みごこち」を満足、やや満足と回答した割合	57.7%	68.4%	65.3%	65.1%	61.4%			80.0%
KPI	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
㉕SDGs推進企業登録制度登録数	—	11件	26件 (15件)	44件 (18件)	59件 (15件)			25件
㉖居住誘導区域内における人口の割合	40.4%	40.4%	40.4%	40.4%	40.5%			42.6%
㉗文化芸術施設利用者数	347,516人	139,678人	146,424人	222,537人	252,937人			383,000人
㉘体育施設利用者数	532,828人	332,399人	244,704人	380,641人	413,632人			587,000人
㉙市内の防災士の数（うち、女性の数）	507人 (106人)	663人 (144)	742人 (165)	817人 (199)	877人 (225)			1,050人 (260人)
㉚みらい会議開催回数	10回	4回	16回	15回	18回			20回
㉛連携して行った事業数	6事業	3事業	4事業	6事業	5事業			8事業

巻末資料（つながりシート・SDGsひもづけシート）

つながりシート



SDGsひもづけシート

SDGsの17の目標は5つのPの5分野に整理できます。あなたの活動が、どの目標につながりを持っているか、ひもづけしてみましょう。

People (人間)

Peace (平和)

Partnership (パートナーシップ)

Planet (地球)

Prosperity (繁栄)

「あかがねのまち」とは

新居浜市の発展の礎となった別子銅山は、
かつて世界一の産銅量を誇り、日本の貿易と
近代化に大きな役割を果たしました。

その資源をいかし、また、先人の知恵と精神、
尊い努力により、新居浜市は、鉱山町から工業都市、
ものづくり産業の集積都市へと発展しました。

このまちに生まれ育った人、生活する人にとって、
その歴史は全国に誇ることでできるすばらしいものです。

今、その誇りを再認識するとともに、
まちのアイデンティティとして市民が一体となった
まちづくりに取り組むために、

新居浜市を『あかがねのまち』と称します。

